

J A全農のグローバル・フード バリューチェーンについて

平成26年5月

全国農業協同組合連合会
(J A全農)

全体概要

1. 中国等の穀物消費量が拡大し、世界の穀物需給に不安
2. 全農の取り組みの紹介
 - (1) 消費者が選択できるように、米国の遺伝子組換え穀物を分別管理
 - (2) 輸出拡大に向け、外食事業を海外展開
3. 日本の農畜産物の輸出には、様々な課題があり、官民双方での条件整備が必須

世界の穀物需給の推移 (1960, 70, 80, 90, 2000, 10, 11, 12, 13, 14年)

図1 米

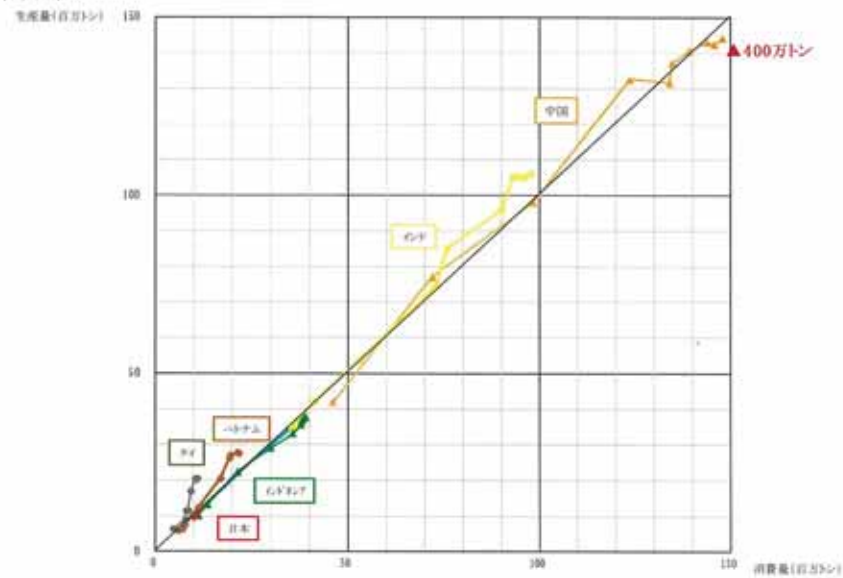


図3 とうもろこし

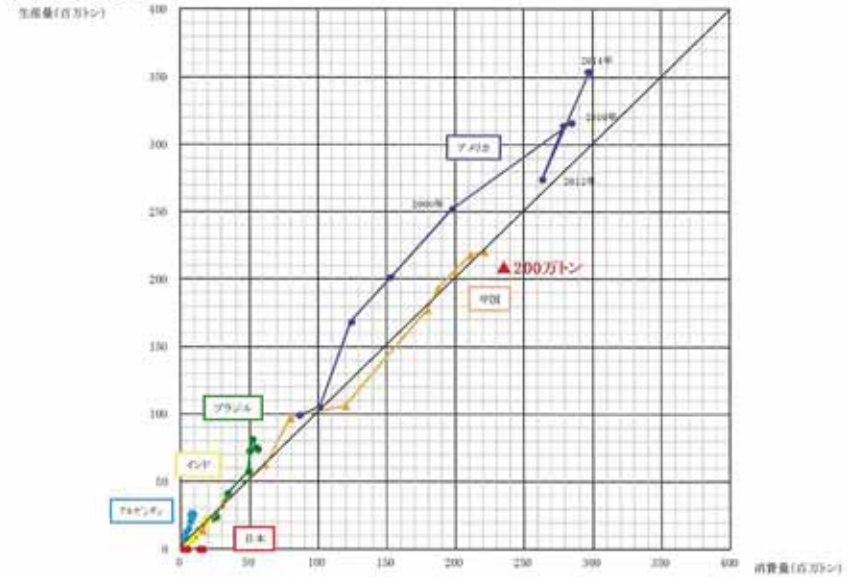


図2 小麦

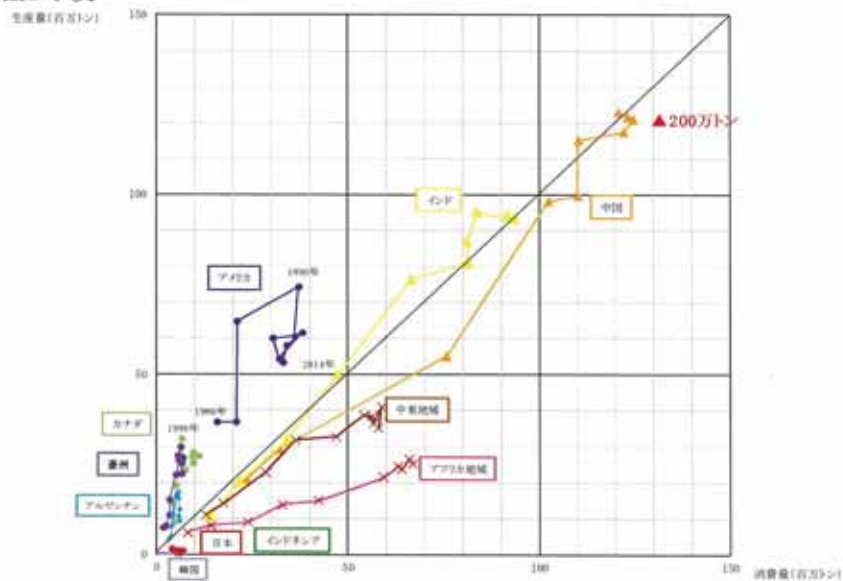
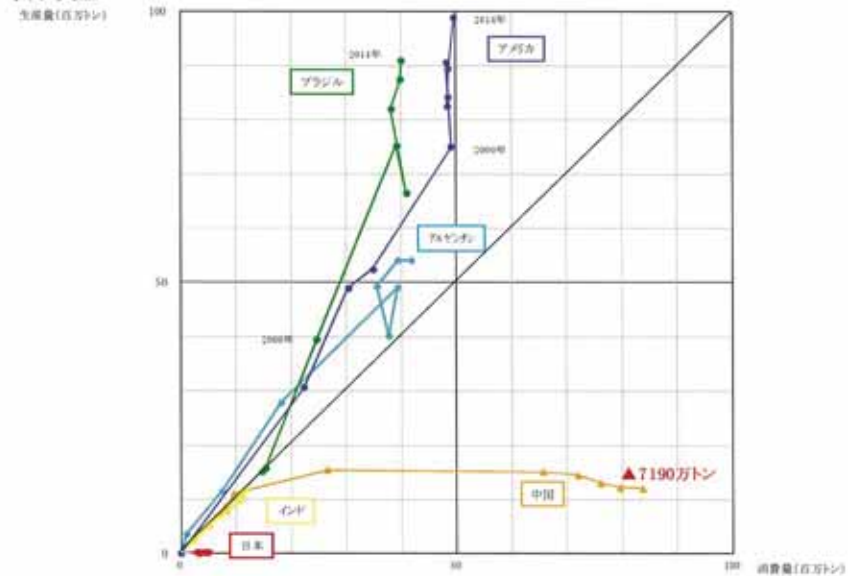


図4 大豆



1. J A全農 遺伝子組換え穀物 (GMO) の分別管理 (IPハンドリング)

● 穀物生産者(生産農家)

コンソリデイトッド・グレイン・アンド・バージ社(CGB)が組織する約2,000戸の穀物生産者(プレミアム・グレイン・グローアーズ)等が種子の選定、栽培、収穫にいたる生産管理および収穫後の保管管理を行います。プレミアム・グレイン・グローアーズのメンバーには認定証が発行されます。



CGBが組織するプレミアム・グレイン・グローアーズのメンバーが、マニュアルにもとづきIPハンドリングプログラムを実践



農家での収穫風景



農家のサイロビンでも分別管理を実施



プレミアム・グレイン・グローアーズ研修会

● CGBカントリーエレベーター リバーエレベーター

輸送トラックで持ち込まれたとうもろこしはトラックごとにサンプルを採取し、検査を行います。IP管理による保管後、はしけに積み込まれる際、はしけごとにサンプルを採取、GMO検査およびPHF対象農薬検査のため、検査機関に送付されます。ミシシッピー川を下りニューオリンズの全農グレイン(ZGC)エレベーターに輸送します。



適切なIP管理により品質を維持しながら保管



品種毎に色カードでデリバリー管理



CGBネーブルズエレベーターの外観



はしけに積込む際もサンプル採取が行われ、分析機関に送付される。ミシシッピー川を下りZGCへ



はしけ輸送

コーンベルト地帯と輸出港ニューオリンズをむすぶミシシッピー川

● 全農グレイン

米国農務省穀物検査官によるサンプル採取、品質検査・輸出検査を受けます。さらに分析機関にサンプルを送付、ここでもGMOおよびPHF検査が行われます。大型輸送船の全ての船倉がきちんと清掃されているか米国農務省穀物検査局が検査し、合格後に船積みします。船倉単位またはセパレーションの使用により、混入のないよう細心の注意を払いながら日本へと運ばれます。



全農グレインの外観



ここでも受入時にサンプルを採取、品質・輸出検査を実施



サイロでは隔壁にわたるクリーニングを実施

中央制御室での分別管理の徹底



※ I P (Identity Preserved) ハンドリング
＝対象となる品目の、他の同種品目とは異なる特性 (Identity) を保持する (Preserved) ために特別に分別管理された物流手法 (Handling)

● 港頭サイロでの受入・保管



【参考】JA全農 米国内物流 リバーエレベーター



北米穀物保管能力トップ10社(2014年)

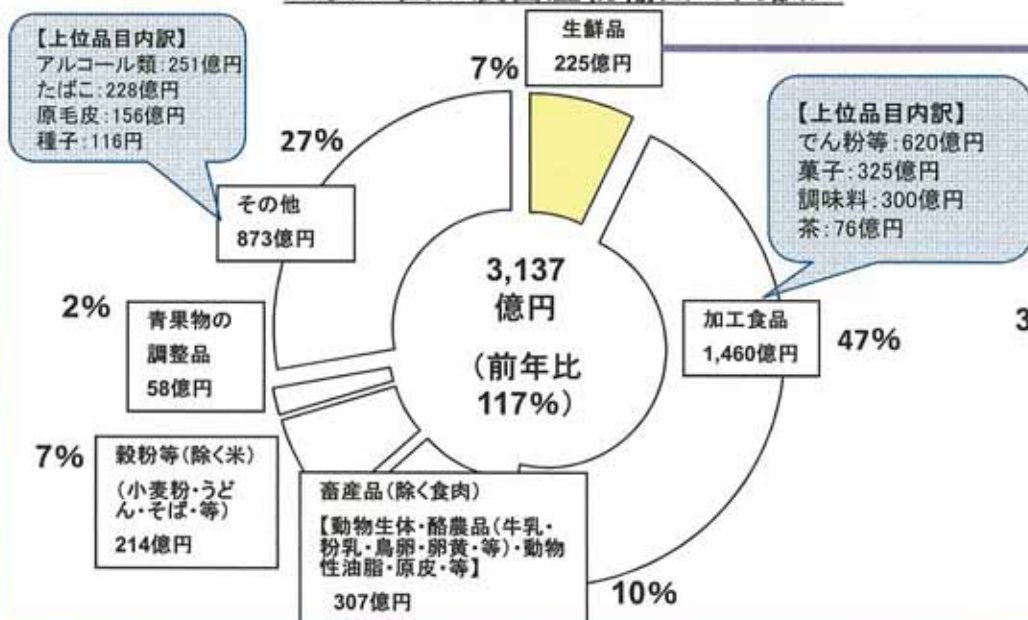
No.	会社名	保管能力(万トン)
1	ADM	1,016
2	ギャビロン	886
3	カーギル	884
4	CHS	853
5	バンゲ	554
6	CGB(全農グループ)	495
7	アッテバリー	421
8	アンダーソンズ	306
9	スクーラー	305
10	ランスランド・フーズ	286

2. 我が国の農畜産物の輸出実績および課題

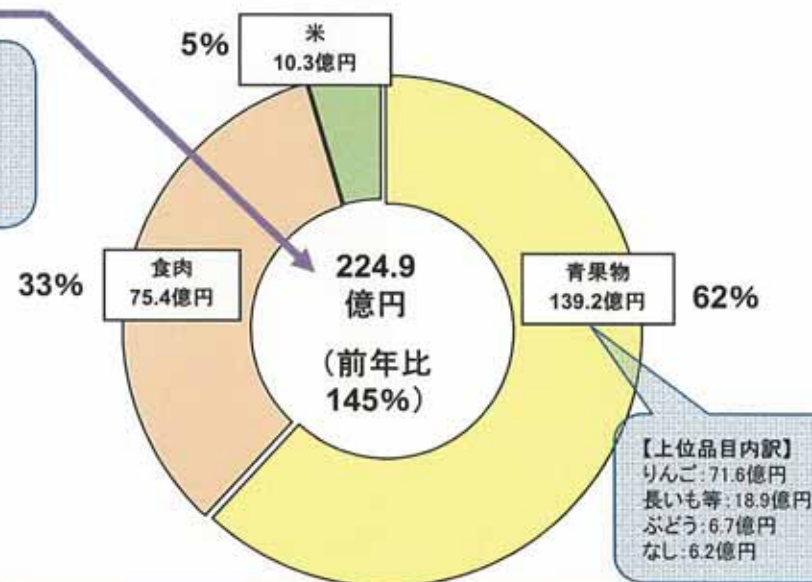
日本の農畜産物の輸出額（平成25年1月～12月）

（出典）農水省：農林水産物輸出入概況

＜我が国の農畜産物輸出の内訳＞



＜我が国の生鮮品輸出の内訳＞



■【生鮮品】輸出の課題

- ①政府間合意（二国間協議・放射能 etc）
- ②日本国内の検査（食品衛生・検疫（動植物） etc）
- ③相手国の規制等（法制度・衛生基準・宗教・文化 etc）
- ④民間（鮮度保持・価格差・物流コスト・為替リスク etc）

■【加工品】輸出の課題

上記課題①～④に加え、ルール・条件自体が明確化されていない場合が多く、厚生労働省による要領の制定や相手国との条件整備のための交渉担当官等の体制強化が必須。

3. J A全農の外食事業進出の事例

国産農畜産物の素材・加工品輸出による、海外での外食事業（料理店）に進出

素材輸出

- ①香港でJ A全農子会社が直営する和牛焼肉料理店（平成25年2月開店）
Open Rice新店最優秀賞 3部門で受賞。（2号店を平成26年8月開店予定）

「Open Rice」は香港最大の飲食サイト。会員数は80万人。香港内43,700件レストランのデータ保有。
香港約500店の新店対象にネット書き込み等の評価で選考。各部門の最優秀賞は1店のみ。

- ②米国ロサンゼルスでJ A全農子会社出資法人が創作和食料理店（平成26年4月開店）

加工品輸出

合併会社
(平成26年2月設立)

【海外事業①：本格的な和食料理店の展開】

- 料理店の食材は、**国産の農畜産物・水産物**を使用。
- 日本国内で加工・冷凍し、輸出。**

【海外事業②：加工食材販売】

- 海外料理店を拠点として、国産農畜産物の加工食材を販売。

日本

素材（国産農畜海産物）を
日本国内で加工・冷凍

【加工品】

輸出

海外



海外店舗

4 (1) . 世界主要国への輸出可否 (素材・加工品)

日本と他国・地域との輸出入規制 (輸出：日本→他国、輸入：他国→日本) 【未定稿】 (平成26年5月段階)

			米国		EU		中国		韓国		台湾		香港		シンガポール		ベトナム		豪州		UAE (アラブ首長国連邦)	
			輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
米	精米	素材	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
		加工品	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-
食肉	牛肉	チルド	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	-	×	○	○ (ハラル処理)	×	
		冷凍 (1 分割)	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	-	×	○	○ (ハラル処理)	×	
		加工品	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	×	○	-	-	○	○	○ (ハラル処理)	×	
	豚肉	チルド	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	-	×	○	○ (ドバイのみ) (ハラル処理)	×
		冷凍	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	-	×	○	○ (ドバイのみ) (ハラル処理)	×
		加工品	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	○	-	-	○	-	○ (ドバイのみ) (ハラル処理)	×	
	鶏肉	チルド	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	-	-	×	○	
		冷凍	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	-	-	×	○	
		加工品	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	-	-	○	-	×	○
	卵	鶏卵	素材	×	○	×	-	×	○	○	-	○	○	○	-	○	○	-	-	×	-	○
加工品			×	○	加工品より輸出可 (実地調査済)	-	-	○	○	○	-	○	○	-	×	○	-	-	○	-	-	○
乳製品	乳製品	素材	○	○	×	○	×	-	○	○	○	-	○	-	×	○	○	-	×	-	○	○
		加工品	○	○	×	○	○	-	○	-	○	-	○	-	×	-	○	-	×	○	○	-
果物	柿	素材	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○
		加工品	×	-	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-
	サクランボ	素材	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
		加工品	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-
	日本梨	素材	○	×	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○
		加工品	-	-	○	-	○	-	×	-	○	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-
	西洋梨	素材	×	-	○	-	×	-	×	-	○	-	○	-	○	-	×	×	×	×	○	-
		加工品	-	-	○	-	-	-	×	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-
	ブドウ	素材	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○
		加工品	○	○	○	○	-	-	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-
	ミカン (温州)	素材	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○
		加工品	○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	○	○	○	-
	桃	素材	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○
		加工品	-	-	○	-	-	○	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-
	リンゴ	素材	○	×	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○
		加工品	○	○	○	○	○	○	×	-	○	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-

【備考】 ○：「無条件で可能」 ○：「条件付きで可能」または「実績あり」 ×：「不可」 -：「未確認」

※輸出品は全て放射性物質の規制あり

4 (2) . 世界主要国への輸出可否 (素材・加工品)

日本と他国・地域との輸出入規制 (輸出：日本→他国、輸入：他国→日本) 【未定稿】 (平成26年5月段階)

			米国		EU		中国		韓国		台湾		香港		シンガポール		ベトナム		豪州		UAE (アラブ首長国連邦)	
			輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
果菜	イチゴ	素材	○	◎	◎	×	×	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	○	◎
		加工品	○	-	◎	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-
	カボチャ	素材	×	◎	◎	◎	×	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	○	◎
		加工品	-	-	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-
	トマト	素材	×	×	◎	×	×	×	○	◎	×	-	◎	×	◎	×	×	×	×	×	○	×
		加工品	○	○	◎	○	○	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-
	ピーマン	素材	×	◎	◎	◎	×	◎	×	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	○	×
		加工品	-	-	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-
	メロン	素材	×	◎	◎	×	×	×	○	◎	○	×	◎	×	◎	×	×	×	×	×	○	◎
		加工品	-	-	◎	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-
葉菜	キャベツ	素材	×	◎	◎	◎	×	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	×	-	×	-	○	◎
		加工品	-	-	◎	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-
	ネギ	素材	×	◎	◎	◎	×	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	×	-	×	-	○	◎
		加工品	-	-	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-
根菜	玉ねぎ	素材	○	◎	◎	◎	×	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	×	-	×	-	○	◎
		加工品	-	-	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-
	ニンジン	素材	×	◎	○	◎	×	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	×	-	×	-	○	◎
		加工品	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-
お茶	緑茶	素材	◎	○	◎	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	-	◎	○	×	-	◎	-	○	◎
		加工品	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水産物	水産物	チルド	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	-	○	○	○	-	○	-	○	-
		冷凍	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	-	○	○	○	-	○	-	○	-
		加工品	○	○	○	-	-	-	○	○	◎	-	◎	-	○	-	○	-	○	-	○	-

【備考】 ◎：「無条件で可能」 ○：「条件付きで可能」または「実績あり」 ×：「不可」 -：「未確認」 ※輸出品は全て放射性物質の規制あり

5. 農畜産物生鮮品の国別輸出額（平成25年1月～12月）

		輸出額 (億円)		50億円	100億円			輸出額 (億円)		50億円	100億円
	合計	225	青果物	139億円							
			食肉	75億円							
			米	10億円							
1	台湾	88	青果物	47億円		11	カナダ	3.5	青果物	2.8億円 (主な品目：みかん 2.8億円)	
			食肉	牛/豚肉は輸出不可、豚肉は実績なし (主な品目：りんご 60億円、長芋 11.5億円、ぶどう 3.4億円、桃 2.4億円)					食肉	0.6億円 (牛肉 0.6億円)	
			米	0.7億円					米	0.6億円	
2	香港	54	青果物	25億円 (主な品目：りんご 7億円、桃 1.3億円、ぶどう 2.7億円、甘藷 2.3億円、いちご 1.9億円)							
			食肉	25億円 (牛肉 14.8億円、鶏肉 7.9億円、豚肉 2.3億円)							
			米	4億円							
3	カンボジア	154	青果物	実績なし		15	EU	0.83	青果物	0.2億円 (主な品目：乾燥野菜 0.2億円、しいたけ 0.04億円)	
			食肉	15億円 (牛肉 12.4億円、鶏肉 2.5億円、豚肉 0.5億円)					食肉	輸出不可	
			米	実績なし					米	0.5億円	
4	アメリカ	152	青果物	6.8億円 (主な品目：長芋 3.7億円、きのこ 4億円、梨 0.2億円)		17	オーストラリア	0.58	青果物	0.02億円 (主な品目：しいたけ 0.01億円)	
			食肉	8億円 (牛肉 8億円)					食肉	輸出不可	
			米	0.36億円					米	0.56億円	
5	シンガポール	129	青果物	4億円 (主な品目：長芋 1.7億円、きのこ 0.7億円、ぶどう 0.3億円)		18	ロシア	0.50	青果物	0.3億円 (主な品目：りんご 0.2億円、玉葱 0.05億円)	
			食肉	6億円 (牛肉 5.5億円、豚肉 0.5億円)					食肉	輸出不可	
			米	3億円					米	0.2億円	
6	マカオ	6.7	青果物	0.02億円		24	UAE	0.06	青果物	0.01億円 (主な品目：乾燥野菜 0.01億円)	
			食肉	6.5億円 (牛肉 5.4億円、豚肉 1.1億円)					食肉	0.04億円 (牛肉 0.04億円)	
			米	0.1億円					米	0.01億円	
7	タイ	6.1	青果物	4億円 (主な品目：りんご 1.6億円、柿 1.4億円)		27	韓国	0.06	青果物	0.06億円 (主な品目：乾燥野菜 0.03億円)	
			食肉	2億円 (牛肉 2億円)					食肉	輸出不可	
			米	0.1億円					米	実績なし	
8	中国	5.7	青果物	5.5億円 (主な品目：栗 3.5億円、りんご 1.9億円)			その他	6.8			
			食肉	輸出不可							
			米	0.2億円							
9	モンゴル	4.7	青果物	実績なし							
			食肉	4.5億円 (牛肉 3.3億円、鶏肉 1.2億円)							
			米	0.1億円							
10	ラオス	3.7	青果物	実績なし							
			食肉	3.7億円 (牛肉 3.7億円)							
			米	実績なし							

※：財団法人貿易統計、平成25年1～12月分